

平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 大

上場会社名 アクモス株式会社

コード番号 6888 URL <http://www.acmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長

(氏名) 中川 智章

TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	573	△11.0	△57	—	△54	—	△52	—
24年6月期第1四半期	644	△31.9	△91	—	△88	—	△89	—

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 △58百万円 (—%) 24年6月期第1四半期 △92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	△539.86	—
24年6月期第1四半期	△917.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	2,136	1,515	67.7
24年6月期	2,217	1,583	68.1

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 1,447百万円 24年6月期 1,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,100	2.2	30	197.8	50	57.8	35	118.0	360.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期(累計)の予想は、行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	102,154 株	24年6月期	102,154 株
25年6月期1Q	5,159 株	24年6月期	5,159 株
25年6月期1Q	96,995 株	24年6月期1Q	96,995 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日、以下「当四半期」という)におけるわが国経済は、震災復興による公共投資を背景として景気が底堅いものの、個人消費に弱含みの傾向が見られ、また欧州の債務危機や新興国経済の景気回復の遅れによる外需の低迷もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業である情報技術事業においては、製造業の基幹システム更新や通信事業者のシステム投資などの開発案件が増えておりますが、全体的には引き続き企業のIT投資に対する慎重な姿勢が続いており、運用サービス単価の低下傾向もあり、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度の基本方針に基づき、「事業再構築」と「新規事業創出」の2つを中心テーマとし、事業環境の変化への適応と収益性の向上を目標に掲げ事業を進めてまいりました。当四半期の売上高は573百万円(前第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日、以下「前四半期」という)は売上高644百万円、前四半期比11.0%減)、営業損失57百万円(前四半期は営業損失91百万円)となっております。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度末において、報告セグメントごとの利益又は損失の金額の算定方法を変更しております。前四半期はのれん償却額を各セグメントに配分せずに、調整額としておりましたが、当四半期では各セグメントに配分しております。以下の各セグメント別の前四半期対比につきましては、前四半期の数値を組み替えて算定しております。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業(当社及びACMOSソーシングサービス(株))では、発注金額の抑制傾向が継続しております。また第2四半期以降に売上計上時期が変更となった案件もあり、売上高は前四半期比9.3%の減少となりました。営業利益は、節電対策シフトの影響が前四半期に比べ少なかったことや、プロジェクト単位の業務管理を強化した効果、外注加工費が前四半期より減少したことにより、対前四半期での売上高減少の影響と相殺され、ほぼ計画通りの進捗となっております。営業活動においては、当社が前連結会計年度において開発を行い、I型消防通信指令システムとして株式会社日立製作所ソリューション推進本部様に採用されましたCTI等を活用した通信指令システムの受注活動を推進いたしました。当四半期のITソリューション事業の売上高は513百万円(前四半期は売上高566百万円、前四半期比9.3%減)、営業損失39百万円(前四半期は営業損失81百万円)となっております。

(ITサービス事業)

ITサービス事業(株)エクスカル及び(株)ジイズスタッフでは、(株)エクスカルが第三者検証試験分野の売上低迷が続き、前四半期比29.0%の売上減少となりましたが、(株)ジイズスタッフでは、売上規模は少額ながらも新規取引先の開拓が順調に進んでいることもあり、売上高は前四半期比1.1%の減少で推移いたしました。当四半期のITサービス事業の売上高は84百万円(前四半期は売上高97百万円、前四半期比14.1%減)、営業損失5百万円(前四半期は営業損失0百万円)となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ80百万円減少し、2,136百万円となりました。主な要因は、仕掛品が43百万円、有形固定資産が30百万円増加した一方で、現金及び預金が57百万円、受取手形及び売掛金が70百万円、のれんが13百万円、短期貸付金が12百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、621百万円となりました。主な要因は、リース債務31百万円、賞与引当金37百万円が増加した一方で、未払費用56百万円、未払法人税等14百万円、長期借入金(1年内返済予定のものを含む)が11百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、1,515百万円となりました。主な要因は、四半期

純損失52百万円、配当金の支払9百万円、少数株主持分の減少5百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月3日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、平成24年10月26日開催の取締役会において、連結子会社の㈱エクスカルを、第2四半期連結会計期間より持分法適用会社に変更する決議を行っております。これによる業績への影響については現在精査中であり、開示が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,232,719	1,175,394
受取手形及び売掛金	376,323	305,472
仕掛品	28,414	71,958
原材料及び貯蔵品	355	389
前払費用	16,736	18,053
短期貸付金	15,469	2,852
未収入金	24,823	26,990
繰延税金資産	7,744	6,227
その他	1,337	1,821
貸倒引当金	△2,260	△1,858
流動資産合計	1,701,664	1,607,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	225,380	225,980
減価償却累計額	△116,938	△118,896
建物及び構築物(純額)	108,442	107,084
工具、器具及び備品	59,137	94,168
減価償却累計額	△47,543	△50,358
工具、器具及び備品(純額)	11,593	43,810
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	188,872	219,731
無形固定資産		
のれん	212,576	198,635
ソフトウェア	43,627	42,186
電話加入権	1,481	1,481
無形固定資産合計	257,685	242,303
投資その他の資産		
投資有価証券	18,759	17,465
敷金及び保証金	40,338	40,345
長期貸付金	9,808	9,087
その他	60	60
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	68,957	66,949
固定資産合計	515,515	528,984
資産合計	2,217,180	2,136,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,398	42,853
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	46,250
預り金	25,019	23,299
未払金	72,325	89,552
未払費用	159,002	102,102
未払法人税等	17,820	3,319
賞与引当金	10,901	48,561
前受金	36,685	29,701
その他	1	8,697
流動負債合計	496,154	474,336
固定負債		
長期借入金	118,750	106,250
長期前受金	13,203	11,991
その他	5,198	28,472
固定負債合計	137,152	146,713
負債合計	633,307	621,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△308,438	△370,502
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,507,182	1,445,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,063	2,035
その他の包括利益累計額合計	3,063	2,035
少数株主持分	73,626	68,077
純資産合計	1,583,872	1,515,232
負債純資産合計	2,217,180	2,136,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	644,333	573,741
売上原価	482,232	389,209
売上総利益	162,100	184,531
販売費及び一般管理費	253,898	241,537
営業損失(△)	△91,797	△57,006
営業外収益		
受取利息及び配当金	343	267
保険配当金	2,893	3,089
その他	1,593	604
営業外収益合計	4,831	3,961
営業外費用		
支払利息	1,378	1,103
その他	4	4
営業外費用合計	1,382	1,108
経常損失(△)	△88,348	△54,152
特別損失		
固定資産除却損	102	—
契約解除損失	300	—
特別損失合計	402	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,751	△54,152
法人税、住民税及び事業税	627	1,677
法人税等調整額	1,719	2,082
法人税等合計	2,346	3,760
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,098	△57,912
少数株主損失(△)	△2,069	△5,548
四半期純損失(△)	△89,028	△52,363

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,098	△57,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,293	△1,028
その他の包括利益	△1,293	△1,028
四半期包括利益	△92,391	△58,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,322	△53,391
少数株主に係る四半期包括利益	△2,069	△5,548

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	546,357	97,976	644,333	—	644,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,050	—	20,050	△20,050	—
計	566,407	97,976	664,383	△20,050	644,333
セグメント損失(△)	△81,691	△20	△81,711	△10,085	△91,797

(注) セグメント損失(△)の調整額△10,085千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△10,622千円、その他の調整額536千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	489,606	84,134	573,741	—	573,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,364	—	24,364	△24,364	—
計	513,970	84,134	598,105	△24,364	573,741
セグメント損失(△)	△39,911	△5,885	△45,797	△11,208	△57,006

(注) セグメント損失(△)の調整額△11,208千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△11,190千円、その他の調整額△17千円を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において報告セグメントごとの利益又は損失の金額の算定方法を、のれん償却額を調整額に含める方法から、各報告セグメントに配分する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法により作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。